

『紅魔狂想曲（カプリチオ）』

周囲が赤い霧に包まれた、館と湖を中心とした異変世界。

メイド姿になったレイムが紅魔館に入ると、早速元凶であるレミリアとの戦闘になる。

【レイム対レミリア】

「早速退治させてもらうわよ、悪魔ー！」悪魔はそっちなじゃないのー？」

サクヤを呼び出し戦うレミリアに対し、レイムはサナエのカードを使用する。そこからパチュリー対スワコ。メイリン対サナエと姿を変えながら戦闘を続けるが、最後はレイムが勝利する。

「来なさい、サクヤー！」

「なに、コスプレ合戦？ それなら乗るわよー！」 みたいな感じ。

撃破し、周囲の霧は晴れたのだが、レミリアのカードは使用できないままだった。釈然としないレイムだったが、同行していたアキウとサナエに押され、館で暴れたお詫びにメイドとして給仕を始める。

アキウ、サナエはレミリアのお世話に回る。彼女の自室に足を運び、滅茶苦茶凹んだレミリアの姿があった。

従者達には甘く見られ、一念発起で異変を起こせば、あっという間に解決されてしまった。そんな自分に、「主としての資格はあるのか……？」と密かにレミリア。

その時館が大きく揺れ、レミリアの部屋の床下が砕けた。身構える三人の前に現れたのは、フランドールだ。

地下に幽閉されていた彼女はレミリアを見つめ、「それなら自分が主になる」と告げ、襲いかかる。

一方揺れと音に気づいたレイムは、サクヤから離れレミリアの部屋へ向かう。しかし向かう途中、廊下を走るレイムを、小悪魔が引き留めた。とっちら図書館に侵入者が現れ、パチュリーが困っているのだそうだ。

彼女に強引に引っ張られる形で図書館に向かうと、そこには魔理沙の姿が。そばにはリタラタになったパチュリーがいた。

異変世界の本までかっ攫った彼女に、レイムはヘルトを装着し戦闘態勢に。「私の邪魔すなよ、レイム」「うっさいわね、泥棒魔女ー！」

向き合い戦闘開始で次回。

『カリスマ悪魔のセリテット』

戦闘から。

【レイム×魔理沙戦】

「ネスミみたいにチョココマか……！」レイム、妖夢に変身？

戦いが終わり、レイムがレミリアの部屋へ向かうと、そこには壁に叩きつけられ気絶するサナエの姿があった。そしてへたり込むレミリアの傍にいたのは、フランドールだ。

「あなたも私と遊んでくれる？」「そう言う彼女に変身しようとするレイムだったが、レミリアがそれを制止した。

「自分が出て行くから、これ以上暴れるな」「そう言って抗おうともしないレミリアをフランドールは冷めた目で見つめる。

負傷したサナエをつれて、アキウとレミリアは一時光琳堂に向かう。そこにはリンノスケ・橙・そして、何故か魔理沙がいた。

一方、レイムは紅魔館に留まっていた。紅茶を淹れるサクヤに対して、「この味は味づきの

か」と問う。

「外出されたお嬢様に、いつでも最高の紅茶を用意する。それがメイドの嗜みですわ↑みたいなの？ もっと良い台詞が欲しいかな。」

それを聞いたレイムはニヤリと笑い、フランドールの元へ向かう。

あらゆる物が破壊された元レイムリアの自衛。そこで返屈そうにするフランに、レイムは戦闘態勢に入った。

「あなたが私と遊んでくれるのかしらっ？」「ええ、遊んでやるわ。下克上等——ってね！」

視点は再び光琳堂。魔理沙とレイムリアの会話。

(主とは何か？ 主の条件とは?)

戦う決意をしたレイムリアは再び紅魔館へ向かう。途中門番のメイリンが現れ、レイムリアは身構える。が、「おかえりなさいませ、お嬢様」と敬礼し、門を開く。

舞台は紅魔館ホールへ。ここでは既にレイムとフランの戦闘が開始されていた。分身するフランに対し、レイムは「鬼には鬼かー」とそう告げ【萃香】のカードで変身。そして、【百万鬼夜行】で対抗する。

「みんな怖がる、私の力を！ だから、その力でみんな支配するの！ それが主ってものじゃーっ！」

「違う！ 言葉じゃない、力でもない。皆に求められる存在！ 信じて、信じられる存在！ それが主よ、主の資格よー！」《↑スーパー名言タイム》

ダメージで萃香から変身が解けるも、玉串で肉薄するレイム。そんな彼女に、「あなた何者ー？」そう問うフラン。

それに対し、「通りすがりの解決屋々……覚えてきなさいー！」そう呼び追撃をかける。

その言葉を聞いて、レイムリアはレイムの加勢に入る。

「私は、主に……主になりたいー！」、そう言う彼女に呼応するかのように、レイムの持つレイムリアのカードが解放された。

「ちゃっつとくすべつたわや、のへたさ。レイムリアの武装【レイムリア・アロー】解放。

グングニルの矢を引き絞るレイムリアにフランが殺到。それを阻むレイム。放たれた矢がフランを討つ。

歩み寄るレイムリアに、「やっぱりお姉様には敵わない」「と、フランはつぶやく。彼女は美は威厳が無くなった姉のために、わざと暴れていたのだ。抱き合う姉妹を見つめ、ほほえむレイムのバック。

光琳堂に戻ったレイム。次の世界が映し出される(スクリーン？ 大鏡?)  
竹藪と満月が描かれたそれを見て、レイムのつぶやき  
「次は、永夜抄の世界か……」  
で、次回。